

**青の煌めきあおもり障スポ（第25回全国障害者スポーツ大会）リハーサル大会
兼 第25回全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会
フットソフトボール競技実施要領**

1 競技規則

令和8（2026）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1)チームの構成は、監督1名、コーチ2名以内およびプレイヤー15名以内（男女は問わない。）とする。
- (2)監督およびコーチがプレイヤーを兼ねる場合は、プレイヤー名簿に登録されていなければプレイヤーとして出場できない。この場合のプレイヤーの人数は、プレイヤーを兼ねる監督およびコーチを含め15名以内とする。

3 競技方法

- (1)試合は、青森県チームを除く参加チームによるトーナメント方式とする。また、トーナメント戦以外に青森県チームを含めた交流戦を実施する。
- (2)試合は、7回または試合開始後60分を経過した後は、新しいイニングに入らない。
- (3)同点の場合は、タイブレークにより試合を延長して行う。ただし、延長は2回を限度とし、延長開始後15分を経過した後は、新しいイニングには入らない。それでも同点の場合は、最終回に出場していたプレイヤーによる抽選によって勝敗を決める。
- (4)抽選方法は、主管競技団体が定めた方法に沿うこととし、大会の監督会議において実施方法を確認する。
- (5)3回終了以降、20点以上の差が生じた場合は、得点差コールドゲームとする。
また、降雨等の事情により試合の継続が不可能と判断され、コールドゲームとなった場合は、3回を終了していれば、試合は成立する（決勝戦を含む）。
- (6)指名選手（DP）および再出場（リエントリー）を採用する。
- (7)試合球は、サッカーボール（ゴム製4号球）とし、主催者が用意する。

4 服装等

- (1)同一チームの監督、コーチおよびプレイヤーは、同色・同意匠ユニフォームを着用しなければならない。ただし、プレイヤーがショートパンツを着用するチームの監督およびコーチについては、上衣は同色・同意匠でなければならないが、下衣については、監督およびコーチのみで統一された、別のものを着用してもよい。また、男子は同じ帽子を着用しなければならない。
- (2)ユニフォームナンバーは、背中と胸下につけなければならない。監督は30番、コーチは

31 番と 32 番、主将は 10 番とし、他のプレイヤーは 1 番から 99 番の番号とする。

数字の大きさは、背中は 15 cm 以上、胸は 6 cm～12 cm とする。ユニフォームの背中はユニフォームナンバーと個人名・チーム名のみとする。個人名・チーム名をつけるときは、ユニフォームナンバーの上部に全員がつけること。(個人名はローマ字表記のみとする) また、ユニフォームの左袖(左肩から 10 cm 程度)に府県・指定都市名を表示すること。

(3)靴は、運動靴又は金属製以外のスパイクとする。

(4)危険防止のための手袋を着用してよい。ただし、投手は、ボール以外の色でなければならない。

5 組合せ

組合せは、令和 8 年 2 月(予定)に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いのもとに、代理抽選の上、決定する。

6 打順表等

(1)打順表は、試合開始時刻 30 分前までに 5 部作成し、競技本部へ提出する。ただし、第 1 試合は、開始式終了後に提出すること。なお、打順表は監督会議において競技本部から配布する。

(2)攻守の決定は、打順表提出時に監督および主将の立会いの下、球審のコインのトスによって決定する。コインの表裏の選択は、先着の主将に優先権を与え、もし両チーム同時の場合は球審の任意により、いずれかのチームを優先させる。

7 表彰式

(1)開始式は、競技開始前に競技会場で行う。

(2)表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

8 出場権

この大会の優勝チームは、第 25 回全国障害者スポーツ大会への出場権を得る。

9 その他

(1)監督会議は競技開始前に行う。なお、監督会議の日時および場所等については、別途通知する。

(2)監督会議では、あらかじめ主催者と協議した事項について、大会申し合わせ事項を設けることができる。

(3)ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを 1 塁側とする。

(4)ベンチ内へは、監督、コーチ、プレイヤー以外は入ることができない。ただし、チームスタッフ 3 名とは別に、チームに帯同しているトレーナーが 1 名ベンチに入ることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは、実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。

- (5)競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (6)練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (7)練習球は、各チームが用意する。
- (8)荒天時ほか不測の事態が生じた場合等の取扱いは、主催者において別途決定する。